

発達勉強会(講師：瀬戸山 悠)

【連携について考える】

◎連携とは

- ・同じ目的を持つ者が互いに連絡を取り、協力し合って物事を行う事。

⇒一方向的に提供・受信することではない。

○連携の必要性

- ・支援はニーズに基づいて提供されるべきもの
 - ・家族を取り巻く状況は環境などにより変化し続けるもの＝ニーズは常に化する。
- ⇒状況の確認、評価が必要不可欠である。

○連携が必要な状況

- ・支援プロセスで「実現できなかったニーズ」、「反映できなかったニーズ」がある
- ・関わりが部分的で、生活の全体像が見えない
- ・複数のサービスを使い分けて生活している
- ・複合的なニーズを有し、サービスが有効かつ効果的に使われていない
- ・意思疎通やニーズ表出が難しい
- ・専門的なアセスメントが必要(医療・保健・教育など)

★一担当者や一事業所の限界を知り、自分たちで出来る事・他事業所が出来る事を分担

○他機関と連携を取る際に感じている課題について

- ・子どもの成長を視野に入れて支援をおこなうために機関間の連携システムと各機関で働く人同士のネットワークづくりの両方が必要

⇒どちらも充実させることができない現状

人的ネットワーク

連携のシステム作り

マンパワー
専門職員の不足

○他機関との連携に向けて

- ・まずは機関内で情報の共有ができる体制を作る事。
- ・そのうえで、他機関との連携システムを築く事。

★普段から地域のどこにどのような専門家がいるか、専門機関があるかを把握しておく